

11月 園だより

H29. 10. 31 花乃路保育園

「皿倉山であそぼう」

先日10月26日にすみれ組が皿倉山での園外保育へと出掛けました。本来6月に計画していましたが、あいにくの天候不良により延期となり、子どもたちは今回の園外保育をまだかまだかと心待ちにしていました。先生たちや他のクラスのお友だちに元気よく手を振り、出発。シャトルバスやケーブルカー等の乗り物を乗り降りする時にはきちんと挨拶ができました。また皿倉山には一般の方が多くいましたが、その方々にも「こんにちは！」と声を掛けている子どもたち。様々な園外保育を通して今まで以上に挨拶や礼儀が自然と身についてきました。山頂で「若戸大橋」「スペースワールド」といった知っている場所を見つけたり、船が何艘見えるか数えたりして景色を楽しみ、おいしくおにぎりを頂きました。その後は虫を探したり、木の実や草花を集めたりしながら自然に触れることが出来「まつぼっくりっち濡らしたら閉じるんよ」「どんぐりの中に虫がおるんよね」など知っている知識を会話の中で楽しみました。たくさん遊んで疲れたのか、帰りのシャトルバスの中では眠たそうにしていた子どもたちです。

おすすめの絵本 「おおきな きがほしい」 佐藤さとる 文 村上勉 絵 偕成社

5歳児クラスの子どもたちが好きな絵本の一つ「おおきな きがほしい」について紹介します。この時期の子どもたちは、友だちと一緒に、あるいは一人で「基地づくり」に興味を示します。園庭の遊具の下といった手軽な物から自分の周りを積み木で囲むなど様々です。この絵本の主人公かおるは、お母さんとの会話の中で想像を広げ、大きな木の上にとっても素敵な基地を夢見ます。自分あるいは自分の仲間だけの周囲から隔離された環境への興味が高まるこの時期の子どもたちには、何とも魅力のあるお話しに違いありません。

今月の行事

- 8日 総合火災訓練
(島郷出張所との合同訓練)
- 11日 地域親子ふれあい交流
(わらべうた)
- 16日 誕生会
- 24日 中リハーサル



今月のうた

◎もみじ◎まつぼっくり◎こぎつね

【もみじ】

秋の夕日に照る山もみじ

濃いも薄いも数ある中に

松をいろどる楓(かえで)や薦(つた)は

山のふもとの裾模様(すそもよう)

クラスからのひとくちメッセージ

ちゅうりっぷ(0歳児)	たんぽぽ(1歳児)	さくら(2歳児)
天候の良い日は特養の周りを散歩して、どんぐりを拾ったりふれあい広場での探索活動を楽しんだりしました。月齢での個人差が大きいのですが指先を使った微細遊びをしたり、ハイハイやつたい歩きを十分にできる環境作りに心掛けたりと、一人一人に応じたあそびを楽しんでいます。	一冊の絵本を繰り返し読むことで、内容を覚え、保育者と一緒に関わり合いの言葉を楽しくお話しています。ごっこ遊びの中で、友だち同士で言葉のやりとりを楽しんでいます。友だちと同じ行動、同じ遊びをしようとして関わりを持とうとする姿を大切にしながら言葉の発達を育んでいます。	過ごしやすい気候になり、散歩や公園に行く中で、まつぼっくりを見つけると喜び、歌いながら歩いています。生活では、自分の身のまわりのことを自分でする力を身につけていきます。あそびでは絵本の世界をぬりえや動き、言葉で表現することを楽しめるようにします。
きく(3歳児)	ばら(4歳児)	すみれ(5歳児)
園庭のクヌギの木に初めてどんぐりがなりました。どんぐりを発見した時は子どもたちも大興奮でした。個別の図鑑で何のどんぐりかを調べたいと何人もの子が図鑑を広げていました。周囲の物や自然物に興味を持ち、探求心が育っている姿を大事にし、散歩の中で様々な自然物に触れていきたいと思います。	カンボジアの子どもたちの生活について知る機会がありました。自分たちにできる事をクラスで考え、運動会で飾っていた旗を作る事にしました。沢山の旗を飾り、カンボジアでの運動会も盛り上げてほしいという思いも込めて、一つ一つ丁寧に仕上げました。	戸外での活動が増え、元気いっぱい遊びを楽しんでいる子どもたち。虫探しや氷鬼といった様々な遊びを行っています。一番人気は大縄跳びです。自分だけではなく、友だちが飛んでいる姿を見て「上手やね」「すごいね」と一緒に喜んでいます。仲間との共感や協調性が育っているこの時期戸外遊びを十分に楽しんでいます。

○園長通信○

ご紹介します。

環境パート 木島富子さんです。

10月より園内外の清掃をお願いしています。週4日の勤務で時間帯は10時30分～16時です。

段取り良く清掃の手順を決められ、掃除用品なども使いやすい便利な物を教えていただき、とても助かっています。保護者の皆様とは時間帯の関係でお会いできない方もおられるのではないかと思います。宜しくお願い致します。

いつも心地よい清潔な環境の中で、子どもたちが過ごせるように安全面も含め配慮していきたいと思っています。